

医療的ケア児等支援連絡会 報告書

医療的ケア児等が心身の状況に応じた適切な支援を受け地域において安心して生活を営むことができるよう、保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関が地域の課題や対応策について協議する「医療的ケア児等支援連絡会」を隔月に開催した。

※「医療的ケア児等支援連絡会」は、令和4年度の課題検討部会での活動等を経て、今年度から医療的ケア児等に関し、専門的に連携及び支援の体制等を協議する場として設置している。

1. 開催状況

開催日	内容	参加者
5月19日	・喀痰吸引フォローアップ研修事前アンケートの作成 ・医療的ケア児等のサポートガイドの内容検討 (神戸市・西宮市より6名視察)	21名 (13事業所)
7月21日	・研修事前アンケート調査結果による研修内容の検討 ・サポートガイドの内容検討	11名 (11事業所)
9月15日	・研修内容の検討 ・サポートガイド作成開始	14名 (14事業所)
11月17日	・研修当日の確認 ・サポートガイド作成 (保健所実習生および教員6名・基幹実習生1名)	22名 (15事業所)
1月19日	・研修報告と今後の実施について・サポートガイド作成 ・市内医療的ケア児等の全数把握 (阪神北圏域相談支援コーディネーター1名)	16名 (15事業所)
3月15日 (予定)	・避難行動要援護者登録者の把握 ・サポートガイド作成	—

2. 研修の実施

開催日	内容	参加者
7月6日	「ひまわり特別支援学校保護者進路研修会」実施 ・利用できる福祉、医療サービス、制度、助成、 インフォーマルサービス等 ・卒業後の進路 ・相談支援専門員との連携について	23名 (内訳) 保護者14名 教員4名 連絡会委員5名
12月2日	「喀痰吸引フォローアップ研修」実施 ・講義、グループワーク、実技指導 ・講師：訪問看護ステーションつな樹 伊藤看護師 医療福祉センターさくら 西山看護師他4名 ・場所：医療福祉センターさくら	20名

○ 喀痰吸引フォローアップ研修 実施スケジュール

日程	項目
5月	市内・近隣市で過去に喀痰吸引研修を修了した支援者の把握・フォローアップ研修受講の意向確認
6月～7月	アンケート調査票の作成（6/16 オンライン会議） 市内・近隣市の対象者にアンケート配布・回収（50名）
8月～9月	アンケート結果を基に研修内容の検討
10月～11月	研修内容の打ち合わせ（10/13 オンライン会議） 事前学習用 講義動画の作成・参加者に配信
12月2日	研修実施

3. 実践報告

兵庫県が毎年実施する医療的ケア児等支援コーディネーター養成研修修了者のその後の活動として、三田市の取組みを以下の会議において報告した。

開催日	内容	場所
1月25日	小児在宅医療推進会議 「三田市医療的ケア児等支援連絡会の取組み」	兵庫県医師会館

【成果と課題】

- ・昨年度、医療的ケア児等の支援者や社会資源の不足の課題があげられ、今年度は市内および近隣市において喀痰吸引ができる支援者育成の取組みを行った。研修参加者からは、継続して研修を受講することにより、実際に現場で喀痰吸引を実施できるようになるとの意見であった。来年度は対象者の事業種別や職種を広げ、医療的ケア児の支援者を取り巻く支援体制づくりを進める。
- ・医療的ケア児等が利用できる社会資源をライフステージごとにまとめたサポートガイドを作成している。当事者および家族・関係者がサービスや制度等の情報を入手しやすくなり、必要な支援を受けられるよう来年度中の完成を目指す。
- ・保護者の意見を直接聞く場、医療的ケア児等支援に関する情報提供の場として、昨年度に続きひまわり特別支援学校にて保護者進路学習会を実施した。サポートガイド作成にあたっては保護者の立場からの意見を積極的に取り入れる。

○開催場所：総合福祉保健センター

参加事業所一覧：16

【保健所】宝塚健康福祉事務所

【医療】訪問看護ステーションつな樹、在宅ホスピス イル・ケア

【相談支援事業所】あすなろ相談支援事業所、三田福祉の里相談支援センター
三田わくわく村（大原）、相談支援事業所「ねくすと」、オフィスリブ

【ヘルパー事業所】WELnet さんだ、Bee Kind（神戸市北区）

【医療型障害児入所施設・療養介護】医療福祉センターさくら

【こども療育センター】かるがも園（令和5年度9月から）

【教育】ひまわり特別支援学校（令和5年度9月から）

【こども】すくすく子育て課（令和5年度9月から）

【その他】障害福祉課、基幹相談支援センター（事務局）